



中島 数宜 議員

Q 災害から3年余りが経過した。災害復旧の進捗状況は

A 町長

災害復旧事業は円滑に進捗し、年度内に全て完了する見込みである。

【Q1】 町管理の河川は土砂撤去がほとんど済んでいない。撤去計画は。

【A1】 町単独財源での対策では不十分であったが、国の緊急浚渫推進事業債制度が創設されたのでこの制度を活用し、今年度は例年の3倍程度の規模を計画し、一千万円の予算を計上している。

【Q2】 串掛林道の土砂崩壊場所から串掛川並びに下流の田畑に土砂が流入している。流出対策をすべきではないか。

【A2】 指摘のとおり山林から土砂等が流出している状況である。流出防止対策や緑化促進等について県と協議を進めていく。

【Q3】 復旧工事が完了した場所の道路沿いに土のうが残っている。土のうありきの完成か。

【A3】 通常では、土のうは応急仮設対応であり復旧事業が完了すれば撤去すべきだが、現場の状況により相当期間残置する場合がある。



▲道路沿いの土のう

【Q4】 大雨継続中の放送はデジタル合成音声よりも肉声の方がよく聞こえる。状況により肉声で放送できないか。

【A4】 肉声放送も考慮し、より良い方法を検討する。

Q バス利用者駐車場が廃止された。代替え駐車場の計画は

A 副町長

近辺には民間の駐車場があり、代替え駐車場建設の考えはない。

【Q1】 廃止されたことで町民は不便になったと感じていると思うが。

【A1】 今後策定する「地域公共交通計画」や「立地適正化計画」において、本町の公共交通環境のあり方や、バス利用促進策を十分検討していく。

【Q2】 町内均一料金制の導入等、町内交通システムを抜本的に見直す考えはないか。

【A2】 近年の公共交通の利用者激減等の状況を踏まえ、公共交通の効率的なネットワークや利用回復を図る新たな交通システムを構築していく。

【Q3】 新たな交通システム構築までには時間がかかる。ショッピング

センター、広電バス営業所方面へ試行的に運行を試みたらどうか。

【A3】 「地域公共交通計画」等を策定し、具体的な施策の方向性を示したいと考えている。

【Q4】 路線バスが運行していない地域の利便性を高めるため、おでかけの運行充実策を検討してはどうか。



▲旧バス利用者乗継駐車場



水原 耕一 議員

Q 災害予防対策は

A 町長

砂防堰堤建設や避難の呼びかけなどの対策に取り組み、災害に強いまちづくりを進める。

【Q1】 雨が降り続いた8月12日以降、短期間で3度レベル3高齢者等避難警戒を発令しているが、その際の避難者の推移は。

【A1】 13日89人、16日76人、18日20人で、発令する度に避難者数が減少した。

【Q2】 短期間での大雨は、土壌雨量を増加させ、土砂災害の危険度を高める。しかし、避難者数が減少しているのは問題がある。対策は。

【A2】 後半2回は大雨が降っていない中で発令であったことが影響していると考えられる。避難の大切さを周知していく。

【Q3】 砂防堰堤は災害が起ころ前の設置が望まれる。呉地区の皇帝ハイツ裏山は、大雨になると土砂災害が発生するリスクが高くなる場所である。砂防堰堤の設置はできないか。

【A3】 令和3年3月に県が策定した「ひろしま防災アクションプラン2021」(令和3～7年度の5ヵ年)で、呉地区は皇帝ハイツ裏山に、砂防堰堤の設置が計画されている。早期の事業着手に向け要望していく。



▶砂防堰堤

Q 住宅地に隣接する町管理でない森林の対応は

A 町長

原則、所有権を有する者が管理する。

【Q1】 裏山からの落ち葉や倒木等で被害を受けた方が相談に来られた時の対応は。

【A1】 原則、土地の所有者と協議してもらおうが、可能な範囲で情報提供もしていく。

【Q2】 裏山が保安林に指定されている所は、森林法により規制がかかり、何もできない。被害を受けた方への対応は。

【A2】 保安林内の木々の伐採は許可や届出が必要、相談に応じて対応する。

【Q3】 保安林の中には災害を防止するために指定している所もある。本町の住宅に隣接する森林は、主にごどの種類に分類されているか。

【A3】 本町における民有林の保安林は、主に土砂流出防備保安林が多い状況である。

【Q4】 災害を防止するために指定した保安林も年月を経て倒木等で被害を出す森林に変化している所もある。危険な箇所については、保安林の目的に合う観点から、災害予防工事を県に要望してもらえないか。そうすれば、町管理ではない森林も対応する事ができるのではないか。

【A4】 保安林の機能を十分に果たせなくなった森林に対しては、災害予防といった観点から県と協議していく。